

作成日 : 2015年11月10日

改訂日 : 年 月 日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

化学品の名称(製品名) : リペアペースト混和液
製品コード : 115050
会社名 : 株式会社 トクヤマエムテック
住所 : 東京都中央区日本橋人形町 1-2-5 ERVIC 人形町 6F
担当部門 : 開発技術グループ
電話番号 : 03-5643-3601
FAX 番号 : 03-3249-3615
推奨用途及び使用上の制限 : コンクリート用補修材料
整理番号 : RP0007

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

自然発火性液体 : 区分外

酸化性液体 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性

経口 : 区分 4

経皮 : 分類対象外

吸入;気体 : 分類対象外

吸入;蒸気 : 分類対象外

吸入;粉塵, ミスト : 分類できない

皮膚腐食性・刺激性 : 分類できない

眼に対する重篤な損傷, 眼刺激性 : 分類できない

感作性

呼吸器 : 分類できない

皮膚 : 分類できない

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 分類できない

生殖毒性 : 分類できない

特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) : 分類できない

特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) : 分類できない

吸引呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性 : 区分 2

水生環境慢性有害性 : 分類できない

GHS ラベル要素

絵表示

:



注意喚起語	:	警告
危険有害性	:	飲み込むと有害 水棲生物に毒性
注意書き		
【予防策】	:	使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 容器を密閉しておくこと。 (必要な時以外は)環境への放出を避けること。 この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。 取り扱い後は手をよく洗うこと。 必要に応じて個人用保護具を使用すること。
【対応】	:	飲み込んだ場合、すぐに口をすすぐこと。気分が悪くなった場合は医師に連絡すること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当を受けること。 皮膚(または髪)に付着した場合、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。 皮膚を流水／シャワーで洗うこと。 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。 取り扱った後、手を洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当を受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 暴露した場合、医師に連絡すること。 気分が悪い時は医師に連絡すること。 特別処置が緊急に必要である。
【保管】	:	常態で保管する。
【廃棄】	:	内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
GHS 分類に該当しない他の危険有害性		
有害性	:	知見なし
環境影響	:	知見なし
物理的及び化学的危険性	:	不燃性物質、酸性物質と接すると褐色の NOx ガスを発生する。
重要な徴候	:	特になし
想定される非常事態の概要	:	特になし
国／地域情報	:	引火性液体

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	:	混合物
化学名または一般名	:	ポリマーディスパージョン混入亜硝酸リチウム 25%水溶液
成分(CAS No.)	:	亜硝酸リチウム(13568-33-7), SBR(9003-55-8), 水酸化リチウム(1310-65-2), 水(7732-18-5)

労安法, PRTR 法, 毒物及び劇物取締法に関する情報

労働安全衛生法	:	該当せず
PRTR 法	:	該当せず

毒物及び劇物取締法 : 該当せず
GHS 分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし

4. 応急措置

- 眼に入った場合 : 清浄な水で最低 15 分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受ける。
洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたの隅々まで水がよく行き渡るように洗浄する。
直ちに大量の洗浄な流水で 15 分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、まぶたの裏まで完全に洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。
必要であれば衣類、靴などを切断する。
製品に触れた部分をただちに水またはぬるま湯を流しながら洗浄する。
石鹼を使ってよく落とす。
外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は直ちに位置の手当を受ける。
付着物を布にて素早く拭き取る。
大量の水及び石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤やシンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
汚染された衣類を取り除くこと。
- 吸引した場合 : 被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動させる。
体を毛布等で覆い、保温して安静を保つ。
呼吸が止まっている場合は、衣服を緩め呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。
直ちに医師の手当を受ける。
蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。
呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。
おう吐物は飲み込ませないようにする。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせてはならない。
直ちに医師の処置を受ける。
必要に応じて人工呼吸や酸素吸入を行う。
被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。
誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
おう吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
- 最も重要な兆候及び症状 : 特になし
応急措置をする者の保護 : 汚染された衣類や保護具を取り除く。
救助者が有害物質に触れたり、吸引したりしないよう適切な保護具を使用するなど注意する。
適切な保護具(保護メガネ、防塵マスク、手袋等)を着用す

医師に対する特別な注意事項 : 特になし

5. 火災時の措置

消火剤 : 情報なし
使用してはならない消火剤 : 情報なし
火災時特有の危険有害性 : 水溶性であり燃焼しない。
加熱により容器が破損するおそれがある。
水の混入により容器が爆発するおそれがある。
特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火後も大量の水で十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項／保護具及び緊急時措置 : 密閉された場所は換気を行う。
漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護メガネ、保護衣、ろ過式呼吸用保護具、給気式呼吸用保護具等を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
環境に対する注意事項 : 環境中に放出してはならない。
河川への排出により、環境への影響を起ささないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材 : 少量の場合には、乾燥砂、土、不燃物質に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
大量の場合、漏えい物の除去や廃棄処理は専門家の指示による。
酸類で中和してはならない。
二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに除く。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
注意事項 : 飲用は絶対にしない。
経口摂取・吸引すると急性中毒を起こし、きわめて危険。
皮膚に付着するとかぶれる場合があるので、取り扱いの際は保護メガネ、ゴム手袋、皮膚に付着しにくい作業服を着用し、製品が皮膚に付着しないようにする。また、本製品が付着した保護具や衣類を長時間着用しない。
酸性物質と接触させると分解して NOx ガスを発生するので、絶対に接触させないようにする。
その他接触を避ける物質としては、ヒドラジン及びその水和物、過酸化水素または過マンガン酸カリウム等の酸性物質、アンモニア塩がある。
草木にかかると枯れる場合があり、また、魚などにも影響

することがあるので、特に漏えい時の対応や廃棄処理する場合、【漏出時の処理】と【廃棄上の注意】を遵守する。
本製品単体及び本製品を含有した製品の散布、噴霧は行わない。

技術的対策	:	特になし。
局所排気・全体排気	:	特になし。
安全取扱い注意事項	:	絶対に飲み込まない。 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しない。 環境への放出を避けること。 眼、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護具を着用する。 取り扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
保管		
技術的対策	:	0～40℃の温度範囲で保管する。 業務用であり、子供の手の届かない所に保管する。
適切な保管条件	:	容器を密閉して換気のよい場所で保管する。 保証期限を過ぎた製品は速やかに廃棄する。 容器は直射日光や火気を避け冷暗所で保管する。
安全な容器包装材料	:	適切な容器包装材料

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	:	情報なし
管理濃度	:	設定されていない
許容濃度	:	設定されていない
保護具		
呼吸器の保護具	:	適切な呼吸器保護具を着用する。
手の保護具	:	ゴム手袋など水(本製品)が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼の保護具	:	保護メガネまたは防災面を着用する。 取り扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚及び身体の保護具	:	取り扱う場合には、皮膚を直接さらさないような衣類を着用すること。また、水(本製品)が浸透しない材質であることが望ましい。
適切な衛生対策	:	この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。 作業後、手をよく洗い、うがいをしてから飲食、喫煙等をする。

9. 物理的及び化学的性質

外観等		
形状	:	液体
臭い	:	ほとんど無し
色	:	乳白色
pH	:	9.5～11.5
沸点	:	情報なし(製品)
初留点	:	情報なし
沸騰範囲	:	情報なし
引火点	:	引火しない
発火点	:	情報なし

燃焼性(固体・ガス)	: 該当しない
燃焼・爆発範囲(下限)	: 引火しない
燃焼・爆発範囲(上限)	: 引火しない
蒸気圧	: 情報なし
蒸気密度	: 情報なし
蒸発速度	: 情報なし
比重(相対密度)	: 密度(比重):1.05~1.15
溶解性	: 情報なし
オクタノール／水分配係数	: 情報なし
分解温度	: 185℃(亜硝酸リチウム)
その他データ	: 特になし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 保管の項目記載の保管条件で安定。 pH 7 以下では NOx ガスを発生して危険。
危険有害反応可能性	: 酸性物質と接触すると、NOx ガスを発生する。
避けるべき条件	: 直射日光, 炎, 火花, 高温体には曝さない。 酸性物質と接触させない。
混触危険物質	: 酸性物質と接触させると分解して NOx ガスを発生するので、絶対に触れさせないようにする。その他接触を避ける物質としては、ヒドラジン及びその水和物、過酸化水素または過マンガン酸カリウム等の酸性物質、アンモニア塩がある。
危険有害な分解生成物	: 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	: 経口マウス(LD50) ≥500mg/kg
経口	経口摂取すると急性中毒を起こし、非常に危険 症状としては、吐き気、嘔吐、チアノーゼ、動悸、血圧下降が見られ、ヘモグロビンの 70%以上がメトヘモグロビン化すると致命的中毒を起こし、運動失調、著しい血圧下降、虚脱、昏睡、呼吸麻痺を起す。リチウムについては、低ナトリウム状態時に多量に経口摂取すると、中毒症状として、嘔吐、失調、錯乱、肝障害、腎障害、下痢を起こすと報告されている。
吸入	吸入すると急性中毒を起こし、きわめて危険 症状としては、吐き気、嘔吐、チアノーゼ、動悸、血圧下降が見られ、ヘモグロビンの 70%以上がメトヘモグロビン化すると致命的中毒を起こし、運動失調、著しい血圧下降、虚脱、昏睡、呼吸麻痺を起す。
皮膚腐食性／刺激性	: 人の皮膚、粘膜に対して刺激性がある。
眼に対する重篤な損傷／刺激性	: 人の眼に対して刺激性がある。
呼吸器感作性／皮膚感作性	: データなし
変異原性(生殖細胞変異原性)	: データなし
発がん性	: IARC などの発がん性物質のリストにリストアップされていない。
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器／全身毒性—単回暴露	: データなし
特定標的臓器／全身毒性—反復暴露	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水棲生物 : 有害

亜硝酸リチウム	TLm(ヒメダカ)	24hrs—120ppm, 48hrs—84ppm, 72hrs—70ppm
---------	-----------	--

残留性／分解性 : 自然界では、亜硝酸酸化細菌により酸化されて硝酸塩になる。

生体蓄積性 : データなし

土壤中の移動性 : データなし

他の有害影響 : 製品漏えい、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。

廃業者には亜硝酸リチウムを含有することを伝えた上で委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 : 情報なし

UN No. : 情報なし

航空規制情報 : 情報なし

UN No. : 情報なし

国内規制

適用法令を参照

取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

(陸上輸送) 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められる運送方法に従うこと。

(海上輸送) 船舶安全法の定めるところに従うこと。

(航空輸送) 航空法の定めるところに従うこと。

特別の安全対策 : 特になし

輸送の特定の安全対策及び条件 : 火気厳禁。

輸送前に容器の破損、腐食漏れ等がないことを確認する。

転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

応急措置指針番号 : 情報なし

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 該当せず

PRTR法 : 該当せず

毒物及び劇物取締法 : 該当せず

消防法 : 該当せず

水質汚濁防止法	:	有害物質(法第2条, 令第2条, 排水基準を定める省令第1条)
海洋汚染防止法	:	有害でない物質(施行令別表第1の2)
水道法	:	有害物質(法第4条, 第2項) 水質基準(平15省令101)
労働基準法	:	疾病化学物質(法第4条第2項, 施行規則第35条・別表第1の2第4号1・昭53労告36号)

16. その他の情報

- ・ 本データシートは, 日本工業規格 Z7253:2012「GHS に基づいた化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示および安全データシート(SDS)」に準じて作成しており, 製品の安全な取り扱いを確保するための“参考資料”として, 現時点で弊社の有する情報を取り扱い事業者にご提供するものです。
- ・ 記載内容は, 現時点で入手できた資料, 情報, データ等に基づいて作成しましたので, 新しい知見により改訂されることがあります。
- ・ 本データシートは必ずしも製品の安全性を保証するものではなく, 弊社が知見を有さない危険性, 有害性の可能性がありますので, 取り扱い事業者は, これを参考として, 個々の取り扱い, 用途, 用法等の実態に応じた安全対策を実施の上, お取り扱い願います。

記載内容の問い合わせ先

株式会社 トクヤマエムテック 開発技術グループ

電話番号 : 03-5643-3601

FAX 番号 : 03-3249-3615

住所 : 東京都中央区日本橋人形町 1-2-5 ERVIC 人形町 6F (〒103-0013)